

「ダイバーシティ・インクルージョン基本方針」の制定について

理事長 清水 扇丈

日本数学会は数学の研究を盛んにし、またその普及をはかり、学術文化の向上発展に寄与することを目的とする法人です。数学研究者がその能力を十分に発揮し、数学研究をより一層促進することができるよう、ダイバーシティ（多様性）の尊重とインクルージョン（包摂性）のさらなる推進が重要であるとの認識に立ち、本基本方針を定めました。

2022年5月21日

ダイバーシティ・インクルージョン基本方針

—日本数学会—

私たちは、人類の叡智であり社会の発展に必要な数学に対し、さまざまな状況に置かれている数学者がその能力を発揮し、数学研究を促進できるよう、多様性を尊重します。これは固定観念に縛られず自由な発想を常とする数学研究につながる姿勢でもあります。

私たちは、年齢、性別、性自認、所属、出身、人種、国籍、宗教、健康状態や障がいの有無などの違いにかかわらず公平に接し、個人的特徴に関する不適切な行為や言動を行いません。差別やハラスメントを排除し、職業倫理に基づいた態度で行動します。お互いを対等な他者として尊重することで、公平で多様性が受け入れられるような倫理に満ちた環境を生み出していきます。

May 21, 2022

DIVERSITY AND INCLUSION POLICY

The Mathematical Society of Japan respects and promotes diversity through the study of mathematics. Mathematics is an essential aspect of developing societies and human intelligence. We respect diversity so mathematicians under various circumstances can successfully demonstrate their abilities and facilitate their studies. This allows mathematical research not to be constrained by stereotypes and allows free thinking.

We strive to treat each other fairly regardless of age, gender, gender identity or expression, affiliation, origin, race, nationality, religion, health condition or disability so that we do not exhibit inappropriate behaviors. We reject discrimination and harassment, and act based only on professional ethics. We create fair, diverse, ethical environments and respect each other as equals.